

**〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕**

担当課・係名	土木課 管理係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）	322番】
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 1節 <input type="checkbox"/> 2項 <input checked="" type="checkbox"/> ③道路の整備・維持管理	

<b>業務の名称</b>	道路管理事業（官民境界等事務）		
(1) 根拠法令・条例	測量法・不動産登記法		
(2) 当該業務量 （延人員規模含む）	総業務量の <u>26</u> %（系の総業務量を100%とする） 職員延人数： <u>2.7</u> 人・日（臨時雇用者延人数： <u>    </u> 人・日）		
(3) 事業費 （人件費分を除く）	<u>1,758</u> 千円（平成20年度決算（細目・細々目の実績から抽出・算定する）		
(4) 補助率（補助金がある 場合のみ記載）	<u>    </u> %（平成20年度実績）		
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了（予定）年度 年度

(6) 業務の概要（簡潔に箇条書きで記載）

①業務目的（達成目標）	道路や水路の幅員等を確保し適正な管理を図ること。
②業務が対象とする住民（地域、層）	町が管理する道路水路等に接している土地所有者。
③業務の具体的な実施内容・方法（平成20年度実績）	町管理の道路水路に接する土地所有者から、土地の境界を決めたいとの申し出を受け、現地立会いを経て境界（筆界）を決めている。
④業務の実施結果（平成20年度実績）	土地所有者から官民境界立会申請書の提出を受け、現場立会いを行い、測量図等の資料や現地の境界杭を確認して境界（筆界）を決めています。

【業務結果の説明指標】

結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
1	官民境界立会申請件数		117件	105件	129件	
2						
3						
4						
5						

(7) 遂行上の問題点、取組課題（簡条書きで簡潔に記載）

- ・ 旧市街地や調整区域においては、境界にまつわる経緯が複雑な事案が多いことから、職員の知識や能力の向上を図る必要がある。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>官民境界立会申請書の受理から立会までの期間を概ね2週間以内に短縮した。</li> </ul>	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
① 目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
② コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③ 業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④ 住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤ 総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥ 他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった    1点: ある程度適切だった    0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5点

(10) 総合評価 (課の見解)	
① 今後の方向 (該当番号に○印)	①. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続(業務の拡大) 3. 見直して継続(業務の縮小) 4. 見直して継続(方法の改善) 5. 見直して継続(他業務と統合) 6. 廃止する。 7. 休止する。
② 評価理由	町が管理する道路水路に接する土地との境界(筆界)を明確化し、管理区分を明らかにするために必要である。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
① 改善目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の知識及び能力を向上し、事務の適正化を図る。</li> </ul>
② 改善時期	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成21年度以降</li> </ul>
③ 改善方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の研修を充実する。</li> </ul>